

(様式 1-3)

広野町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 26 年 3 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	25	事業名	都市防災推進事業 (防災備蓄倉庫整備)	事業番号	D-20-2
交付団体		広野町	事業実施主体 (直接/間接)	広野町 (直接)	
総交付対象事業費		11,385 (千円)	全体事業費	11,385 (千円)	
事業概要					
<p>■防災備蓄倉庫整備の実施設計</p> <p>敷地面積 A=1,410㎡ 建築面積 A=約680㎡ 建築面積の根拠は別添資料のとおり。</p> <p>(「広野町復興計画 (第一次素案)」の 21 ページ「(2) 町民生活復興のための施策 ②災害に強いまちの復興」、 「(2) 町民生活復興のための施策 ④地域コミュニティ・絆の復興 ⑤新たな防災体制の確立」を参照)</p>					
当面の事業概要					
<p>&lt;平成 26 年度&gt;</p> <p>防災備蓄倉庫 (広野町総合グラウンド隣接地) の実施設計・地質調査 ※別添工程表参照</p>					
東日本大震災の被害との関係					
<p>これまで、町内に災害に備えた備蓄倉庫は整備されていなかったため、震災発生時、住民への早急な水・食料等の支援が実施できず、また、町外からの救援物資の受け取りまで時間を要した。</p> <p>今次災害にあっては、保管施設が町内に存在しなかったため、応急的に広野小学校教室や町築地ヶ丘体育館に物資を集め、現在まで保管していることから、本来の使用目的である「生徒、地域住民による体育館の使用」ができない状況が続いている。</p> <p>これらの状況を踏まえ、「広野町復興計画 (第二次) や広野町地域防災計画」において、適切な物資の搬入・搬出や管理の観点から、役場等公共施設が集約し、幹線道路にも近接するエリアを「防災拠点ゾーン」と位置付け、同ゾーンに防災備蓄倉庫の整備を図ることとする。</p>					
関連する災害復旧事業の概要					
※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。					
関連する基幹事業					
事業番号					
事業名					
交付団体					
基幹事業との関連性					